

社会福祉法人 山陰家庭学院
令和6年度 事業報告

1. 法人の経営理念

- (1) 佛教的理念に基づく「和顔・愛語」を実践します。
- (2) 地域福祉事業の核としての組織づくりをします。
- (3) 権利擁護の絶対遵守を図ります。
- (4) 良質なサービス提供のための人材確保に努めます。
- (5) 情報開示と安全確保の徹底を期します。

2. 法人の経営方針

- (1) 法人の組織統括(ガバナンス)の確立と法令遵守(コンプライアンス)の徹底
- (2) 業務管理及び会計監視体制強化による経営性の向上
- (3) キャリアパス制度による人材の育成と定着化の促進
- (4) 地域福祉の中心的リーダーとしての役割と、地域福祉ニーズへの即応体制強化

3. 理事・評議員会等の開催

開催日	委員会等名	議 題
5月23日	監事監査	令和5年度事業報告及び決算監査
6月5日	第1回理事会	令和5年度事業報告及び決算審議、監査報告その他
6月21日	定時評議員会	令和5年度決算審議その他
9月6日	第2回理事会	慈光苑移転新築事業にかかる借入金計画関係ほか審議、報告
10月1日	運営協議会	令和6年度事業計画等について
10月23日	第3回理事会	令和6年度事業計画・予算実績進捗状況報告その他
2月28日	第4回理事会	令和6年度事業計画・予算実績進捗状況報告その他
3月14日	第5回理事会	令和6年度事業計画・予算実績進捗状況報告 令和6年度補正予算審議 令和7年度事業計画及び予算審議、その他
3月27日	第2回評議員会	令和6年度補正予算審議 令和7年度事業計画及び予算審議、その他

4. 監事監査

- (1) 5月23日開催
- (2) 監査結果
 - [1] 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
 - [2] 計算関係書類及び財産目録の監査結果
 - ① 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
 - [3] 監事の意見
 - (1) 施設運営について事業活動自体厳しいところが見受けられることから、経

営方針などを各施設ごとに話し合う機会を設けていただきたい。
(2)通所施設で利用者の特性を生かした取り組みが工賃アップにつながったことは良いことだと思います。
(3)人材不足が深刻化する中、人員確保は大変な課題です。引き続き法人としてどう取り組むのか考えていただきたい。

5. 内部監査

(1)実施方針

- ①法人内全事業所に対する計画的実施。
- ②監事の同行による指導の実施。

(2)実施施設・事業所スケジュール

- ①各施設・事業所の運営状況及び経理状況についての実地監査。
- ②スケジュール
 - ・10月28日松江学園・短期入所(立原監事同行)
 - ・11月26日ゆうなぎホーム・なぎさ居宅、ゆうなぎ訪問、うみ通所(立原監事、石田監事同行)

6. 県・市指導監査、実地指導

(運営指導・実地監査)11月5日 松江学園、12月18日 みしょう
(運営指導)11月25日 相談みのりの家、12月6日 みのりの家
(運営指導)12月2日 ゆうなぎホーム

7. その他事業予定

- (1)辞令交付式 4月 1日(月)
- (2)新規採用職員試験 令和7年度新規学卒者採用試験7月29日実施、2名受験。12月20日実施、2名受験。
- (3)ふれあい祭 11月9日(土)開催 利用者、来客者、職員計230人参加

8. 主要事業

- (1)経営の視点に基づいた第2次中期経営計画に着手
- (2)養護老人ホーム「慈光苑」改築整備事業の推進
 - ・8月20日入札、9月24日起工式を終え、工事に着手。調理業務の新システム(クックチル方式)導入など、移転を見据えたサービス提供体制の確立。
- (3)業務管理及び会計監視体制の推進
 - ①副施設長会による業務管理・横断的連携の推進及び法規等の周知徹底
第1回5月13日:議案検討他。第2回9月26日:議案検討他。
第3回2月13日:議案検討他。第4回2月20日:議案検討他。
労務管理研修 9月26日:参加21人。
 - ②事務統括者、会計統括者による各部門管理の推進
 - ③弁護士、公認会計士、社会保険労務士による助言・相談体制の確立
・社会保険労務士:適宜案件相談。
- (4)人権擁護対策の推進及びリスクマネジメント体制の強化
 - ①事故防止、苦情処理、虐待防止等リスクマネジメント対策の推進
 - (ア)各種委員会活動の充実
 - (イ)リスクマネジメント委員会の設置による事故防止対策の推進
- (5)人材の育成と定着化の推進及び人材の確保
 - ①キャリアパス制度の理解促進と職員のモチベーション向上
 - ②キャリアパス制度に基づく各種研修機会の充実
 - ・新入社員への説明
 - ・各施設、事業所において研修計画を策定
 - ③職員育成のためのメンター制度の確立
 - ④職員確保・離職防止委員会の設置による総合的職員確保対策の推進
 - (ア)ハローワーク、福祉人材センター、有料職業紹介会社等関係機関人材募集活動随時参加
 - (イ)各種就職フェア参加、各大学はじめ養成専門学校等への働きかけ

⑤外国人介護職員の活用について具体的に検討を進めている。

⑥職員異動状況《令和7年3月末現在》 ()は有期採用職員

	介護士・支援員等		看護師他	その他	合計
	介護	障害			
採用	2(0)	3(3)	2(4)	0(0)	7(7)
退職	3(2)	9(4)	2(1)	0(2)	14(9)

(6) 社会福祉法人としての地域貢献

①地域生活定着支援事業の推進

②地域ニーズの把握と地域貢献事業の実施(松江市社会福祉法人連絡会)

(ア)ふくしなんでも相談

(イ)講師派遣事業

(ウ)物品・機材等貸し出し事業

(エ)要援護者に対するトイレの提供

(オ)シンポジウムの開催

サマーチャレンジボランティア事業に慈光苑が登録したがコロナで急遽中止

③島根町高齢者団体等との連携促進と活動への参加

なごやか寄り合い事業参加、ゆうなぎカフェの実施

④法人事業としての福祉有償運送事業の運営

(7) 防災・防犯対策の推進

①防火・防災安全管理規程に基づく全施設・事業所の防火・防災意識の向上

②「非常災害対策計画」「消防計画」「避難確保計画」に基づく各施設・事業所の「具体的計画」の策定及び避難・消火訓練等の実施

③各施設・事業所毎の防犯対策推進

④しまねDWTへの参加。登録研修派遣4名、協力事業所5事業所。

(8) 職員の労働環境改善

①パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等各種ハラスメント対策の推進

②職員のメンタルヘルスケア対策の推進

(ア)こころのほっとライン(電話相談窓口)

③産業医による職員の健康管理等についての助言・相談体制の推進

④安全衛生推進者による職員の労働環境改善の推進

⑤職員の適正な労働時間管理の推進

・労務管理研修

⑥島根県・協会けんぽ島根による「健康宣言」を認定された。

(9) 女性活躍推進法における「一般事業主行動計画」の推進

(10) 事業継続計画(BCP)に基づく感染症・自然災害対策の推進

①BCPに基づく職員研修、訓練の実施

②定期的なBCPの検証と見直し

●感染症発症状況(令和7年3月末現在)

新型コロナウイルス感染症クラスター 3件、利用者45名、インフルエンザ集団感染2件利用者33名の発症があっている。

・引き続き諸対策に努めている。

・「持ち込まない、拡げない、持ち出さない」計画的な訓練実施。

9. 本部業務・各委員会・各PT等組織

(1) 本部業務

①法人内施設・事業所内部監査実施

②施設等退所者、一般就労者地域自立支援

③施設長会、副施設長会の実施、運営

施設長会:第1回4月25日運営体制等協議、第2回5月27日理事会議案等

協議、第3回9月6日第2次中期経営計画他協議、第4回10月16日理事会

議案等協議、第5回12月16日諸案件協議、第6回2月19日理事会議案等協議

第7回3月4日理事会議案等協議

④法人研修の実施(研修部) 計画的実施

⑤事務・会計部門の統括(事務・会計統括者)

適宜実施

- ⑥高齢者、障害者各連絡会の実施 定例開催
- ⑦高齢者虐待防止委員会 研修会第1回5月17日、
第2回は2月7日、事業所単位で研修実施。
障害者虐待防止委員会 定例会10月7日、第2回3月11日
研修会2月27日

(2)各委員会等

- ①苦情解決委員会 7年1月31日開催
第三者委員(虐待防止委員会、懲戒委員会委員を兼ねる)
岸田委員(弁護士) 今岡委員(学識経験者)
- ②リスクマネジメント委員会(各施設長で構成)
- ③感染症委員会:各拠点、各施設から委員を選出
(定例開催)第1回5月16日、第2回7月11日、第3回9月12日。
- ④職員確保・離職防止委員会(職員確保の総合的対策の推進)
- ⑤アフターケア会議(施設・GH等退所者、一般就労者等地域自立支援のためのアフターケア)(適宜開催)
- ⑥広報委員会(HP、パンフ等を活用した法人及び法人内事業所広報の取りまとめ及び実施)各拠点、施設から委員を選出
- ⑦安全運転管理者委員会:各拠点、各施設から委員を選出 第1回6月26日
第2回1月22日
- ⑧防災担当者委員会:各拠点、事業所から委員を選出(毎月実施)
- ⑨栄養士会:各拠点、事業所から委員を選出(毎月実施)第1回4月25日
第2回5月16日
食中毒予防研修 7月24日 17名出席
- ⑩看護師会:各拠点、事業所から委員を選出(隔月実施)第1回5月16日
第2回7月11日、第3回9月12日、第4回2月13日
医療研修11月21日21名参加

(3)各PT

- ①ゆうなぎ苑拠点・ゆうなぎホーム拠点運営改善PT
- ②松江学園将来の在り方検討PT

10. 研修

(1)法人役職員に積極的な研修参加の呼びかけを行う

- ①全国社会福祉協議会、全国社会福祉法人経営者協議会主催研修
ア 社会福祉施設経営者大会
- ②島根県社会福祉協議会、島根県社会福祉法人経営者協議会主催研修
ア 社会福祉法人経営者セミナー
イ 社会福祉法人監事研修
- ③松江市企業等人権問題研修推進連絡協議会主催研修6月10日1名参加
トップセミナー8月28日1名参加、えせ同和行為及び人権問題に関するセミナー(オンライン視聴1名)10月23日、企人協研修会11月12日(3名)、
企人協研集会11月29日(オンライン視聴3名)
- ④その他

(2)職員研修の実施

- ①クラス別研修の実施
ア 新任職員研修 5月10日、15名参加
イ 中堅職員研修 9月11日、10名参加
ウ 指導的職員研修 1月24日、10名参加
エ 管理職研修 1月20日～2月28日
オ 後期新任職員研修 3月7日、12名参加
- ②危機管理研修(感染症予防、安全運転研修等)
- ③各種テーマ・課題別研修(介護技術、マナー、医療、虐待防止、
人権擁護等)
食中毒予防研修 7月24日 17名出席
医療研修11月21日 21名参加
人権研修12月17日 15名参加

障害者虐待防止研修2月27日 11名出席

高齢者虐待防止研修2月7日 各事業所で開催

④職場内テーマ別研究、OJT等

(3)キャリアパス制度に基づく研修

①目標実践活動研修

②職位毎生涯研修(島根県社会福祉協議会人材センター主催)

※各施設・事業所で管理